

スマートメーター・HEMSデータを用いた ライフスタイルの解明とビジネス展開の可能性

※参加費無料

●日時：2019年7月23日(火) 13:15~17:15 (受付開始 12:45)

●場所：TKP品川港南口会議室(東京都港区港南2-4-3 三和港南ビル 4F)

●主催：(国研) 産業技術総合研究所 安全科学研究部門

●協賛：気候変動・省エネルギー行動会議 (BECC Japan)

エネルギー・資源学会、日本LCA学会環境情報研究会

●概要・目的

ディープラーニングをはじめとした人工知能 (AI) 技術が急速に発展し、AI活用で不可欠となる大量のデータを生み出すセンサー技術及びIoT技術も広く普及しています。わが国の住宅分野では、電力自由化やZEH補助金の後押しを受ける形で、既に2000万軒以上の世帯にスマートメーターが設置され、20万軒以上の世帯にはより詳細なエネルギー利用状況がわかるHEMSが設置されており、ポストFITにおけるデマンドレスポンスや蓄電池活用など、HEMSの利用価値は今後さらに高まると予想されています。

そこで、AI等を活用することでスマートメーター、HEMSによって大量に蓄積されたデータから新たな知見を発見し、これをビジネス展開することで社会に還元されることが期待されています。しかし、AI等のデータ解析には高度な専門性を必要とするため、蓄積されたデータが十分活用されているとは言えません。

本講演会では、スマートメーター、HEMSデータを活用することによってどのような知識の獲得に至るのかについてその基礎的な知見をご紹介しますとともに、ビジネス展開を見据えた産学共同のあり方について議論します。研究開発の競争領域と協調領域を区分し、協調領域については知見を共有して研究を進めることで、企業等がより発展的な競争領域に先進できる体制の整備を目指します。

●プログラム (講演タイトルは仮タイトルとなります)

13:15~13:20	開会挨拶
13:20~14:00	基調講演 中上英俊 (株式会社住環境計画研究所 代表取締役会長)
14:00~14:30	基調講演 ZEH事業の背景と政策の方向性について 坪根 永 (環境省地球環境局地球温暖化対策課)
14:30~15:00	HEMS×AIの可能性 ~データ活用基盤の創生に向けて~ 本田智則 (産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員)
15:00~15:10	休憩
15:10~15:40	パナソニックにおけるHEMSデータの活用について 平松勝彦 (パナソニック株式会社ライフソリューションズ社技術本部イノベーションセンタ 所長)
15:40~16:10	ベンチャー企業におけるHEMSデータ活用の可能性と実施例 笠嶋聖 (トランスブート株式会社 CTO)
16:10~16:40	HEMS実証実験より得られた科学的知見について 磐田朋子 (芝浦工業大学 環境システム学科 准教授)
16:40~17:10	スマートメーター・HEMSメーターから何を知ることができるか？ 小澤暁人 (産業技術総合研究所 安全科学研究部門 研究員)
17:10~17:15	閉会挨拶 稲葉敦 (工学院大学環境エネルギー化学科 教授)

●参加申込：右のQRコードまたは下記アドレスの参加フォームよりお申し込みください

<https://www.aist-riss.jp/event/44227/>

申込締切 2019年7月21日(日)

※定員100名に達し次第、締め切らせていただきます。

●連絡先 産総研安全科学研究部門 講演会事務局 E-mail: aged-staff@aist.go.jp

